

成人看護学実習記録 I - 7 【自己評価表】 学生氏名 _____ 実習病棟名 (記号) _____

具体的達成目標	評価基準内容				中間評価	最終評価
	A	B	C	D		
1) 術前看護						
①患者および家族のストレス・危機状況とそれらに関する心理・社会的ストレス因子を記述できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
②手術・治療に対するインフォームド・コンセントおよび自己決定がどのようになされたか確認し、記述できる。	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要を十分に記載できている	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要を記載できている	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要の記載が不足している	電子カルテで同意書の確認ができていない、「手術に関する情報」の記載が大幅に不足している		
③患者および家族が疾病および手術をどのように認識しているか記述できる。	電子カルテや患者・家族との会話により、認識の程度を「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	電子カルテや患者・家族との会話により、認識の程度を「アセスメントシート」、「関連図」に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、大幅な情報の不足がある		
④手術前検査・処置について、電子カルテから検査結果について情報収集し、記述できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑤予測される手術の侵襲（手術侵襲・麻酔・術式）を記述できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に各侵襲の機序・患者の個別の情報を十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑥患者の機能障害の部位、原因、症状の程度等を総合的に判断し、術後合併症を予測し記述できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に術式による機能障害、合併症をアセスメントし看護問題に関連させ記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑦患者および家族が手術前ストレスに対処するための援助ができる。	「毎日の計画」に援助内容が記載され、援助ができ、患者の反応を十分に記載できている	「毎日の計画」に援助内容が記載され、援助ができ、患者の反応を記載できている。	「毎日の計画」に援助の計画が事前に立案されていないが、患者の反応のみ記載できている。	「看護計画」の立案ができていない、「毎日の計画」に援助の計画が事前に立案されていない		
⑧手術後に予測される合併症を予防するための援助ができる。	「看護計画」の立案ができ、「毎日の計画」に記載され、十分な援助ができている	「看護計画」の立案ができ、「毎日の計画」に記載され、援助ができている	「看護計画」の立案ができ、「毎日の計画」に記載され、援助ができているが不十分である	「看護計画」の立案ができていない、「毎日の計画」に援助の計画が事前に立案されていない		
2) 術中看護						
①手術室看護師への患者の申し送りの実際がわかる。	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子が見学できた	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子の一部見学できた	見学できなかったが内容は把握できている	見学できなかった、内容も説明できない		

②患者に行われた術式・手術所見について概説できる。	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要を十分に記載できている。	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要を記載できている。	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要の記載が不足している。	電子カルテ上、同意書で内容が確認でき、「手術に関する情報」に、説明内容の概要の記載が大幅に不足している。		
③患者に行われた麻酔の種類と作用機序、使用した薬剤の薬理作用、使用目的について説明できる。	麻酔薬の事前学習を実施できており、「アセスメント」に十分に記載できている。	麻酔薬の事前学習を実施できており、「アセスメント」に記載できている。	麻酔薬の事前学習を実施できており、「アセスメント」に記載できているが不足がある。	麻酔薬の事前学習を実施できており、「アセスメント」に記載できているが大幅な不足がある。		
④術中に行われた検査・処置の目的を説明できる。	電子カルテまたは手術見学により検査・処置について理解し、「手術に関する情報」に十分に記載できている。	電子カルテで検査・処置が確認でき、「手術に関する情報」に記載できている。	電子カルテで検査・処置が確認でき、「手術に関する情報」に記載できているが不足がある。	電子カルテで検査・処置が確認でき、「手術に関する情報」に記載できているが大幅な不足がある。		
⑤ドレーン・チューブ類の挿入部位と使用目的について説明できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある。	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑥手術終了後、患者の麻酔覚醒経過について説明できる。	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子が見学できている。	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子が一部見学できた。	見学できなかったが内容は把握できている。	見学できなかった、内容も説明できない。		
⑦病棟（または回復室）看護師への申し送りの実際がわかる。	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子が見学できている。	手術室見学実習または受け持ち患者の手術見学等で実際の様子が一部見学できた。	見学できなかったが内容は把握できている。	見学できなかった、内容も説明できない。		
⑧手術中の患者に対する手洗い看護師および外まわり看護師の役割について記述できる。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できている。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できた。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に記載できたが情報の不足や理解が不十分である。	見学できなかった、内容も説明できない。		
⑨手術中の無菌操作を見学し、感染対策について記述できる。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できている。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できた。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に記載できたが情報の不足や理解が不十分である。	見学できなかった、内容も説明できない。		
⑩手術室におけるチーム医療の実際が分かり、記述できる。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できている。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に十分に記載できた。	手術室見学実習等で実際の様子を見学でき、「手術室見学実習レポート」に記載できたが情報の不足や理解が不十分である。	見学できなかった、内容も説明できない。		
3) 術後看護						
①実施された手術に伴う機能の変化および回復過程を指摘することができる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある。	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
②クリティカル状況にある患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある。	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある。	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		

③術後患者の生体徴候および心理的反応を観察し、異常を指摘できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
④クリティカル状況にある患者に対し、生命保全・合併症予防のための援助の必要性が理解できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑤手術によって患者の日常生活がどのように規制されているか指摘することができる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑥患者および家族の心理・社会的ストレス因子、ストレス・危機状況を指摘できる。	「アセスメントシート」、「関連図」に十分に記載できている	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がややある	「アセスメントシート」、「関連図」に記載できているが、情報の不足やアセスメントの不足がある	「アセスメントシート」、「関連図」の情報が大幅に不足している。		
⑦手術侵襲に伴う患者の苦痛・不快症状に対する援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、患者の状態に応じて、主体的に援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、一部、援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」の立案ができているが不十分、または主体性に乏しい。	アセスメントに基づく「看護計画」が立案や援助が大幅に不足している。		
⑧手術によって変化した患者の機能の回復段階に対応した日常生活の援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、患者の状態に応じて、主体的に援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、一部、援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」の立案ができているが不十分、または主体性に乏しい。	アセスメントに基づく「看護計画」が立案や援助が大幅に不足している。		
⑨患者および家族が、手術後のストレスに対処するための援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、患者の状態に応じて、主体的に援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、一部、援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」の立案ができているが不十分、または主体性に乏しい。	アセスメントに基づく「看護計画」が立案や援助が大幅に不足している。		
⑩患者が、手術によって変化したボディ・イメージを受容し、早期に社会へ適応できるように援助できる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、患者の状態に応じて、主体的に援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、一部、援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」の立案ができているが不十分、または主体性に乏しい。	アセスメントに基づく「看護計画」が立案や援助が大幅に不足している。		
⑪患者の退院後の生活状況を知り、QOL向上のために必要な家族の協力および社会資源の活用について援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、患者の状態に応じて、主体的に援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」が立案でき、一部、援助ができる。	アセスメントに基づいて「看護計画」の立案ができているが不十分、または主体性に乏しい。	アセスメントに基づく「看護計画」が立案や援助が大幅に不足している。		
4) 総括						
①患者にとって手術体験はどのような意味があったか説明できる。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、十分に記載されている。文章の構成、誤字・脱字がなく規定に沿っている。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が述べられている。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が不十分である。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察ができていない。文章の構成、誤字・脱字、規定に沿っていないなどの問題がある。		
②患者に対しヒューマンケアリングをどのように実践したか自己評価できる。	「実習後レポート」に、自分の看護を振り返って、ヒューマンケアリングについて考察し、自己評価が記載されている。文章の構成、誤字・脱字がなく規定に沿っている。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が述べられている。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が不十分である。	「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察ができていない。文章に問題がある。		

<p>③臨地実習を通して、自分の知識・技術・価値観がどのように発展したか記述できる。</p>	<p>「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、十分に述べられている。文章の構成、誤字・脱字がなく規定に沿っている。</p>	<p>「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が述べられている。</p>	<p>「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察が不十分である。</p>	<p>「実習後レポート」に、患者の経験や言動から考察した手術体験の意味について、考察ができていない。文章の構成、誤字・脱字、規定に沿っていないなどの問題がある。</p>		
--	--	---	--	--	--	--

主要概念：手術体験、ストレス、コーピング、インフォームド・コンセント、自己決定、院内感染対策、クリティカルケア、合併症予防、ボディイメージの変化、機能回復、QOL、社会資源